

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】令和3年10月28日(2021.10.28)

【公開番号】特開2021-138721(P2021-138721A)
 【公開日】令和3年9月16日(2021.9.16)
 【年通号数】公開・登録公報2021-044
 【出願番号】特願2021-84813(P2021-84813)
 【国際特許分類】

A 6 1 K 35/15 (2015.01)
 A 6 1 P 31/18 (2006.01)
 A 6 1 K 39/21 (2006.01)
 A 6 1 P 37/04 (2006.01)
 A 6 1 P 43/00 (2006.01)
 C 1 2 N 15/867 (2006.01)
 C 1 2 N 15/113 (2010.01)
 C 1 2 N 15/49 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 35/15 Z
 A 6 1 P 31/18 Z N A
 A 6 1 K 39/21
 A 6 1 P 37/04
 A 6 1 P 43/00 1 0 7
 C 1 2 N 15/867 Z
 C 1 2 N 15/113 Z
 C 1 2 N 15/49

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月6日(2021.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ケモカイン受容体CCR5の産生を阻害することができるスモールRNA、ケモカイン受容体CXCR4の産生を阻害することができるスモールRNA、およびHIV RNA配列を標的とするスモールRNA分子からなる群より選択される少なくとも1つの遺伝子エレメントをコードする、ウイルスベクター。

【請求項2】

レンチウイルスである、請求項1に記載のウイルスベクター。

【請求項3】

ベクター内ベクターシステムである、請求項1に記載のウイルスベクター。

【請求項4】

前記HIV RNA配列を標的とするスモールRNA分子が、gag、pol、env、tat、rev、nef、vif、vpr、vpu、tev、LTR、TAR、RRE、PE、SLIP、CRS、またはINSを対象とする、請求項1に記載のウイルスベクター。

【請求項5】

前記スモールRNA分子が、miR21-VifおよびmiR185-Tatのうちの任意の1つまたは複数を含む、請求項1に記載のウイルスベクター。

【請求項6】

ケモカイン受容体CCR5の産生を阻害することができるスモールRNA、およびHIV RNA配列を標的とするスモールRNA分子からなる群より選択される少なくとも1つの遺伝子エレメントをコードする、ウイルスベクター。

【請求項7】

レンチウイルスである、請求項6に記載のウイルスベクター。

【請求項8】

ベクター内ベクターシステムである、請求項6に記載のウイルスベクター。

【請求項9】

前記HIV RNA配列を標的とするスモールRNA分子が、gag、pol、env、tat、rev、nef、vif、vpr、vpu、tev、LTR、TAR、RRE、PE、SLIP、CRS、またはINSを対象とする、請求項6に記載のウイルスベクター。

【請求項10】

前記スモールRNA分子が、miR21-VifおよびmiR185-Tatのうちの任意の1つまたは複数を含む、請求項6に記載のウイルスベクター。

【請求項11】

HIV+対象が機能的に治癒しているか否かの指標として、療法用レンチウイルスによる遺伝子改変を有するHIV特異的CD4 T細胞の数を用いる方法であって、該方法は、該対象から単離したCD4 T細胞において、該療法用レンチウイルスによる遺伝子改変を有するHIV特異的CD4 T細胞の数を決定するステップを含み、

療法用レンチウイルスによる遺伝子改変を有するHIV特異的CD4 T細胞の数が、特定の時間後に閾値を上回る場合、該対象は機能的に治癒している、方法。

【請求項12】

前記閾値が、約 1×10^8 個の、療法用レンチウイルスによる遺伝子改変を有するHIV特異的CD4 T細胞である、請求項11に記載の方法。

【請求項13】

前記治療後の特定の時間が約30～約60日間である、請求項11に記載の方法。

【請求項14】

前記治療後の特定の時間が約12～約26週間である、請求項11に記載の方法。